

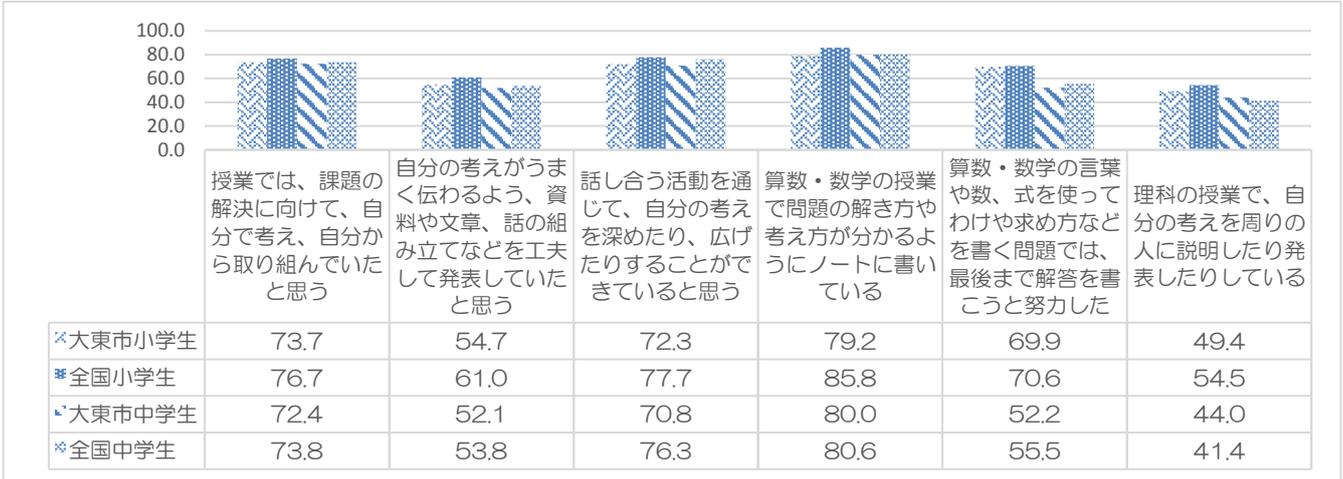
学習状況調査から

大東市教育委員会では、大東市教育大綱及び大東市教育ビジョン後期基本計画の「大東のめざす子ども像」に向けて、授業改善に取り組んでいます。



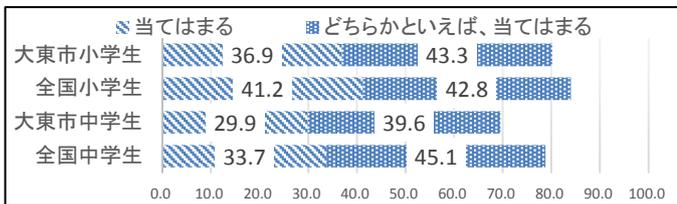
授業改善の成果と課題について

下の表は今年度の小・中学校における「授業改善」関連のアンケートを全国と比較したものです。「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」は、大きく改善しました。これまでめざしてきた、児童・生徒が実感できる授業づくりの成果が表れていると考えられます。今後も授業での言語活動を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざして取り組んでまいります。<「授業改善」関連質問紙調査結果> 下記の棒グラフは左から、大東小学生→全国小学生→大東中学生→全国中学生の順

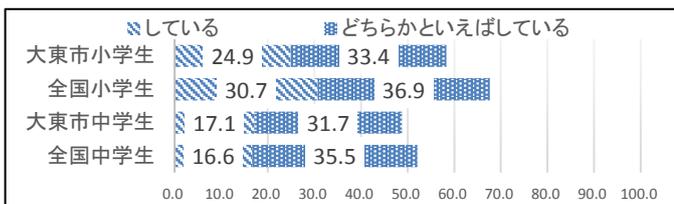


児童・生徒質問紙より

資料1 〈自分にはよいところがある〉



資料2 〈家で、自分で計画を立てて勉強している〉



資料3 〈月～金曜日、授業以外での1日あたりの勉強時間〉



資料4 〈「人の役に立つ人間になりたい」と平均正答率(%)の関係〉

	小国A	小国B	小算A	小算B	小理	中国A	中国B	中数A	中数B	中理
当てはまる	69.0	52.8	62.2	50.7	56.9	75.4	57.7	62.8	42.2	63.0
どちらかといえば当てはまる	63.9	47.2	59.0	43.3	51.5	72.5	53.3	57.4	38.6	57.9
どちらかといえば当てはまらない	50.7	29.7	48.2	32.7	44.4	64.3	46.2	51.7	35.9	52.9
当てはまらない	45.5	33.7	43.4	27.7	38.0	58.9	45.5	42.1	30.5	46.7

資料1の自尊感情は、全国よりもやや低い傾向です。学校でも、家庭や地域でも、成長したことやよいところなどを言葉で伝えるような関わりが必要です。

資料2については、小・中学生ともさらに向上し、これまでの調査において最も高い数値でした。

資料3では、家庭学習を1日あたり1時間以下、あるいは全くしないと答えた児童・生徒の割合です。全国を上回り、依然として課題であることがわかります。

なお、資料4は、児童・生徒質問紙「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の回答と、各教科・領域の正答率のクロス集計です。

将来の夢や目標があることと正答率の間には有意差が見られませんでした。しかし、「人の役に立ちたい」という思いが強いほど、正答率が高いという相関関係が見られました。子どもたちにとって活躍の場があり、見守られ、励まされ、認められる学校・家庭・地域であることが、学業向上の鍵といえるかもしれません。